



本校は、次のような学生を受け入れています。

[アドミッションポリシー(入学者受入方針)]

理数系に興味のある人

新しいことを知りたい、理解したいという学習意欲のある人

自ら新しいことに取り組むなど、チャレンジ精神旺盛な人

ものづくりに関心のある人

卒業後の進路

卒業後は、就職も進学も自分の希望が
ほぼ100%かないます。

●就職

本校は昭和44年3月に第1回卒業生を社会に送り出して以来、不況の折にもほとんど影響を受けず、就職率ほぼ100%の実績を上げています。県内企業による説明会や就職講演会の開催、コーオプ教育の推進、長期インターンシップ(約1ヶ月の職場体験)の実施など、学生の就職への支援に力を入れています。

●進学

高専は、それ自体で完成教育を目的としています。もっと高度な技術と理論を修得したい学生は高専専攻科(2年間)への進学および大学への編入の道が開かれています。東北大学など、有名大学へ編入することも可能です。

入学料・授業料等について

入学料	84,600円(入学時)
授業料	年額234,600円 (前期117,300円・後期117,300円)
寄宿料(寮生のみ必要)	[1人部屋]月額800円 [2人部屋]月額700円

1~3年生までは、原則として高等学校と同様の「就学支援金制度」の適応があり、所得に応じて年額0円、56,400円、115,800円または234,600円の負担となります。

その他、必要な経費につきましては別途お問い合わせください。

※授業料等につきましては、在学中に改定されることがあります。

国際交流

専攻科では海外インターンシップを通じて魅力ある人間形成を図っています。今後、5年生でも同様の取組を予定しています。

高専ならではの教育活動

秋田高専では各種コンテストに積極的に参加しています。仲間と協力し、一つの作品を作り上げる「ものづくり」の経験はコミュニケーション能力と確かな実力を身に付ける良い機会となっています。



プログラミングコンテスト



ロボットコンテスト

学生寮について

全寮生には勉強机と椅子、ベッド、保管庫、靴箱が貸与されます。女子寮も併設され、現在20名の女子寮生が男子寮生と共に勉学と課外活動に励んでいます。



独立行政法人 国立高等専門学校機構

秋田工業高等専門学校

お問合せは
総務課
総務係まで

〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号
TEL/018-847-6005 FAX/018-857-3191
<https://www.akita-nct.ac.jp>
somu-dv@akita-nct.ac.jp



機械系



物質・生物系

“ 未来の青写真
ビジョンを持っていますか? ”



電気・電子・情報系



土木・建築系

グローバルエンジニアの育成に力を入れています。

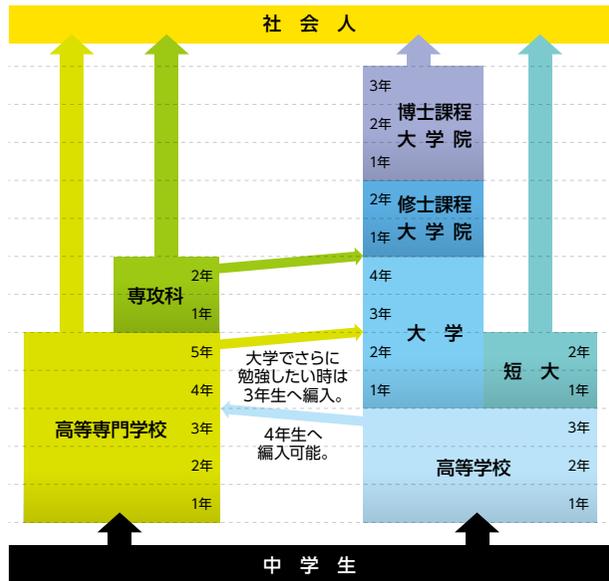
専門分野をもっと広く深く。未来を切り拓くスペシャリストをめざそう。



独立行政法人国立高等専門学校機構
秋田工業高等専門学校

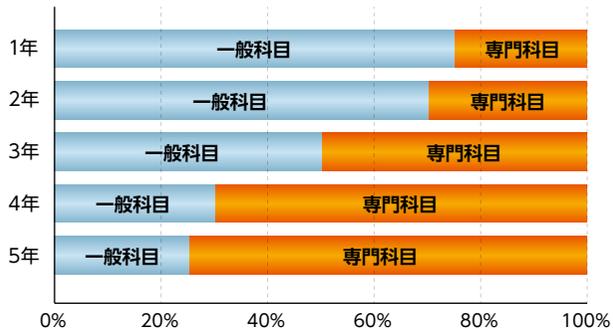
高校とは違う、高等専門学校とは

高等専門学校(高専)とは、5年間の一貫教育を行うことにより、大学卒業より2年早く、大学卒業と同じレベルの知識を身に付けた技術者を世に送り出すことができる高等教育機関です。



秋田高専では、一般科目(普通高校とほぼ変わらない)に加え、専門科目(4つある系の専門分野をより深く学ぶ授業)を設けており、学年が上がるにつれてより卒業後に活用するような実践に近い内容や、最新機器を使った研究などの時間の割合が増えていきます。

●くさび型教育



5年一貫教育の特徴を活かした「くさび型教育」は、「一般科目」と「専門科目」を有機的に関連させた効果的な教育です。理論だけでなく、実験・実習等の実践的技術教育を行っています。

多様化する工学領域において、柔軟に対応する「創造システム工学科」。

1年次の専門教育を学科共通にすることにより、十分な知識のもとに自分の進む進路を選択することができます。

興味を持ったら下のQRコードから公式サイトにアクセスしてみてください。



5年	機械システムコース	電気エネルギーシステムコース	マテリアル・プロセス工学コース	国土防災システムコース
4年	知能機械コース	情報・通信ネットワークコース	バイオ・アグリ工学コース	空間デザインコース
4年生進級時には系の2コースの中から1コースを選択し、さらに専門的分野を学びます。				
3年	機械系 社会基盤を支える重要な専門技術のひとつが機械工学です。機械系では、多様化する社会ニーズに十分対応出来る有能なエンジニアを育てるために、専門科目のみならず、関連する他分野の知識習得や、与えられた課題を学生グループだけで力を合わせて設計製作した機器によって解決するような特色のある授業を行っています。	電気・電子・情報系 電気回路、電気磁気学、電子デバイス工学、電気機器学、情報処理、コンピュータ基礎などの電気エネルギーと情報通信の広い範囲にわたり、基盤となる専門知識と技術について学びます。そして、コンピュータ制御・計測等の融合複合領域の専門知識を統合して「情報技術を身につけた課題解決方法を生み出す創造性に富む電気電子システム技術者」を育成します。	物質・生物系 物質・生物に関する基礎・専門知識を習得し、機能性マテリアルの合成、新規製造プロセスの開発、バイオマスの変換利用、微生物生産、食品素材開発など、最先端技術に対応できる柔軟な思考力と創造力、実践力を身につけます。	土木・建築系 土木工学や環境工学、建築学等の建設分野に関する広い知識が学べます。橋、道路、鉄道などのインフラや水質などに加え、建築・都市空間のデザインや計画、交通計画、CAD・CG等を学び、研究します。履修条件を満たすと、卒業時には測量士補の資格が得られ、1級建築士の受験資格が発生し、実務経験により技術士の受験資格も得られます。卒業後は、建設会社、コンサル、国や地方公務員、建築家、研究者などの道があります。
2年				
2年生進級時に4系列の中から適した系を選べます。				
1年	「創造システム工学科」として学科共通の基礎科目を学びます。			

1学科体制